

神戸市中央卸売市場本場西側跡地利用検討委員会  
第1回検討委員会 議論のまとめ

---

議題：中央卸売市場西側跡地の有効利用の検討

1 地元の方々の意見・要望等について

- 地域の人々が愛着をもってその施設にかかわることができるよう、地元の意見を聞くことは非常に重要である。
- 事務局でヒアリングを行い、結果を第2回検討委員会で報告する。

2 跡地利用の方向性について

- 跡地は売却処分することになっている。市の財政的な視点からは、できるだけ高価格での売却が求められるが、跡地周辺、及び兵庫区全体の活性化に寄与することが前提である。
- 「運河」、「食文化」、「歴史的資源」といった、跡地のもつ固有の特色を活かした計画とすべきである。
- 「人口定着」、「観光客の呼び込み」、「跡地の処分性」の3つのバランスが大切である。

3 跡地に求める具体的役割・機能について

- 中央卸売市場と運河を活用しながら発展できるような食文化ゾーンをつくり、神戸ブランドを展開してはどうか。
- 明石の昼網もさびれてきている。これを持ってくれば活性化に役立つのではないか。また、運河は魚のよい養殖場になると思う。その魚を来街者に食べてもらってはどうか。
- 大規模な商業施設ができる案は女性向きでよいと思う。
- 地元や近隣の人、よそから来た観光客など、多様な客が混在した場所になるとよい。

4 交通アクセス、集客エリアなど

- 商業施設の規模や集客エリアの考え方についての整理が必要である。対象が近隣か、広域かで議論は根本から変わってしまう。
- 南北方向の地下鉄海岸線のみ依存している状況である。東西方向、山手から浜手へのアクセスが必要ではないかと感じる。
- ネットワーク動線にとらわれすぎないこと、この場所が魅力ある核となることの方が先ではないだろうか。動線が自然に集まってくるような吸引力のあるものを考えたい。
- 特色を持ったまちづくりをして、三宮、元町、ハーバーランドとの差別化を図る。